

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書

制作団体名	企業組合劇団風の子九州
公演団体名	劇団風の子九州

内容
<p>出演学年は、学校の希望にもよりますが、4年生を想定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①劇団側の自己紹介をします。</li><li>②子どもたちの緊張をほぐすために、アイスブレイク的なゲームをします。</li><li>③おおまかなストーリーを紙芝居形式で伝えます。</li><li>④劇中の「どこでも音楽隊」のダンスと歌の練習をします。 役者の芝居に合わせて、揃えられるよう練習します。</li><li>⑤ラストのテーマ曲を練習します。</li></ol>

タイムスケジュール（標準）
<ol style="list-style-type: none"><li>① ゲーム遊び 15分</li><li>② あらすじ説明 15分</li><li>③ 稽古、製作指導 55分（途中休憩有り）</li><li>④ 発表</li></ol> <p>3校時、4校時を使わせてもらいます。</p>

派遣者数
4人

学校における事前指導
<p>出演場面のDVDを鑑賞してもらい、イメージを膨らませてもらう。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① テーマソングを覚えておいてもらう。</li></ol> <p>※事前ではありませんが。ワークショップ時にご担当の先生に振付を録画していただき、練習の際にご活用いただけますよう お願いいたします。</p>

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	企業組合劇団風の子九州
公演団体名	劇団風の子九州

<b>演目</b>
演 目:「なるほ堂ものがたり」  ・脚 本/山本佐助 ・台 本・演出/あさのゆみこ ・美 術/山本佐助 ・歯車製作/北川正憲 ・音 楽/曲尾友克 ・振 付/玉木聡美  (公演時間:75分)

<b>派遣者数</b>
8人

<b>タイムスケジュール (標準)</b>					
前日仕込み( 無 ) 会場設営の所要時間( 3 時間程度 )					
到着	仕込み	リハーサル	本公演	撤去	退出
8:30	8:30~11:00	11:30~12:15 (午前4時限目)	13:30~15:15 (午後5,6時限目)	15:30~17:30	17:30
↑					
*4時限目に出演する子どもたちとのリハーサルが入ります。					
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
*午前公演(前後の日程により可能)の場合は、前日3時間程度の仕込、 当日は、1時限目リハーサル、3,4時限目本番、15:00搬出完了					

<b>実施校への協力依頼人員</b>
基本的に必要ありません。

## 演目解説

(あらすじ) 小学5年生の良太と聡は親友同士。放課後、いつも一緒に遊んでいたが、聡の塾の数が増えたので良太はつまらない。聡の塾のない日を狙って、聡の家に上がり込みますが、聡は一人でゲームに夢中。実は良太は聡に打ち明けなくてはならないことがある。一人暮らしのおばあちゃんの為に家族で引っ越すかもしれないということを言い出せない。でも、優柔不断な良太は親友との別れを切り出すことがなかなかできない。聡は、何か言いたそうなのに、言えないでいる良太に少しイライラしています。

そんなある日の夕方、母子家庭の聡は夕食用の弁当を買いにコンビニへ出かけます。良太も付き合いますが、途中二人は、いかにも怪しいおじいさん(実は未来から来た科学者)と出会います。好奇心旺盛な二人が後を付けていくと、「なるほ堂」という気味の悪い店に入っていきます。二人も中に入ると、そこには変な商品がいっぱい陳列されています。聡はお互いの心を入れ替える事ができるというチェンジ玉を買います。ある日、チェンジ玉で心を入れ替えた二人は、それぞれの家に帰って行きます。聡は戸惑いながらも賑やかな夕食の時間を過ごしますが、良太のお父さんが発した言葉に良太の聡にたいする意外な気持ちを知ることになります。それ以来、二人の関係は気まづくなり、取っ組み合いのけんかまで発展して、本音を発するお互い本音を吐露してしまいます。前思春期の子どもたちの心の揺れを描いた作品です。二人が本心で語り合えるまでを描いています。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

・「どこでも音楽隊」というオルゴールのような商品から現れる音楽隊のメンバーとして参加。小さな箱を開けて、良太が今の気持ちをいうと、「どこでも音楽隊」の演奏と歌がはじまります。出演している子どもたちは良太の言った「ワクワク」の気持ちの音楽をダンスと言葉(歌)で表現します。シンプルな歌とダンスですが、楽しく盛り上がる場面です。(出演者10~40人)

・ラストは、テーマ曲を合唱します。舞台セットの大きな歯車がかみ合って初めて回ります。その前で子どもたちが歌うシーンは会場全体に感動の輪が広がります。(出演者10~40人)

・参加する子どもたちは、身近にあるもので簡単な衣装を先生方と考えて当日それをつけて出演します。ただ単に参加するだけでなく、自分たちで事前準備をする事で、本公演への期待感をもち本番を楽しむことができますと思います。

## 児童生徒とのふれあい

- ① 終演後、質問や感想を言ってもらうことも可能です。
- ② 入場の時、座席への誘導を出演者が行います。
- ③ 退場の時、体育館出口において出演者が見送ります。
- ④ 終演後の集合写真も可能です。
- ⑤ 高学年の子は舞台道具のバランスに参加可能です。